

新たな地域コミュニティ支援事業にかかる受託者の評価結果について（平成 29 年度期末）

1 取組実績の評価（１）：事業の実施状況の評価

評価項目

- (1) 自律的運営に向けた地域活動協議会の取組（イメージ）
- (1-1) 「Ⅰ 地域課題への取組」にかかる支援の実施状況
- (1-2) 「Ⅱ つながりの拡充」にかかる支援の実施状況
- (1-3) 「Ⅲ 組織運営」にかかる支援の実施状況
- (1-4) 「Ⅳ 区独自取組」にかかる支援の実施状況

評価	左記の理由
A	・地域カルテ（地域虎の巻）作成会議を行い、地域の本音を引き出し、地域課題の把握や地域の将来像の共有がより深まったことは評価できる。 ・これまであまり交流のなかったNPO等の団体との交流が始まり、多様な団体を巻き込んだ効果的な支援ができている。

2 取組実績の評価（２）：事業の実施体制等の評価

評価項目

- (1) 自由提案による地域支援の実施状況
- (2-1) スーパーバイザー、アドバイザー及び地域まちづくり支援員の体制
- (2-2) フォロー（バックアップ）体制等
- (3) 区のマネジメントに対応した取組

評価	左記の理由
A	・地域に精通した支援員を配置することにより、地域事情やニーズに応じたきめ細かい支援ができている。 ・外部アドバイザーの豊富な情報やノウハウを生かした支援ができおり、事業実施体制は充分であった。

3 区の方針・戦略を踏まえた今年度の重点支援策（取組）に関する評価

評価	左記の理由
A	・多文化共生を課題とする生野区において、外国籍住民を巻き込んだ交流事業が複数実施され、新たな担い手としての可能性を見出せたことは評価できる。 ・工夫した勉強会を展開しており、評価できる一方で、参加していない地域へどうアプローチをするかを模索していったほしい。

4 取組効果の評価（アウトカムに対する評価）：目標等の達成状況の評価

評価項目

- (1) アンケート調査
- (2) 自律的運営に向けた地域活動協議会の取組（イメージ）
 - (2-1) 「Ⅰ 地域課題への取組」の達成状況
 - (2-2) 「Ⅱ つながりの拡充」の達成状況
 - (2-3) 「Ⅲ 組織運営」の達成状況
 - (2-4) 「Ⅳ 区独自取組」の達成状況
- (3) その他の効果のあった内容

評価	左記の理由
B	・様々な手法を用い、目標の達成に向けて積極的に取り組んでおり、一定の成果を上げている。 ・地域課題の共有や組織運営については、できている地域とできていない地域の差が大きく、できていない地域に対して、「地域虎の巻」作成会議を利用するなど、区と連携しながら、粘り強く支援をしていってほしい。

5 総合評価

上記の評価を踏まえ、総合的に評価

(1) 総合評価Ⅰ

項目	評価	左記の理由
(1) 地域課題等の把握・分析・整理	A	・少子高齢化、空き家、多文化共生といった区の地域課題を適切に把握し、また地域ごとに分析、整理できている。
(2) 目標（支援策）の明確化とそこに向けた戦略・シナリオの策定	B	・ポイントをおさえた戦略を設定し、ぶれずに実行しており、評価できる。地域にも理解・浸透してきているものの、それを実行していく力のない地域などもあるため、事業を前向きに仕分けするなど、負担軽減についても積極的に進めていってほしい。
(3) 区のマネジメントに合った取組	A	・区との認識共有ができており、お互いの長所活かし、短所を補う形で役割分担して支援ができている。

(2) 総合評価Ⅱ

項目	評価	左記の理由
総合評価（全体）	A	・めざす方向性を明らかにし、地域に寄り添いながら、ぶれずに地域に根差した支援を実施しており、評価できる。 ・「人のつながり」と「しくみ（経験）」に重点を置き、支援していることは、地域の真の自立のために欠かせないことであり、粘り強く取組みを深めてほしい。

(評価基準)

- S : 本市の求める水準を大幅に上回る効果が得られた
- A : 本市の求める水準以上の効果が得られた
- B : おおむね本市の求める水準どおりの効果が得られた
- C : 本市の求める水準の効果が得られていない